

2015 年度 初動期

環境活動レポート

自 2015 年 10 月 01 日
至 2015 年 12 月 31 日

[目 次]

- 1 環境方針
- 2.1 組織・事業の概要
- 2.2 認証登録の対象組織・活動
- 2.3 環境マネジメント実施体制
- 3 環境目標
- 4 環境活動計画、取組結果、評価、次年度の取組内容
- 5 自然共生活動
- 6 環境関連法規等の遵守評価結果、違反・訴訟の有無
- 7 代表者による全体の評価と見直し結果

発行日：2016 年 02 月 27 日

トヨタカローラ奈良株式会社

1 環境方針

社 是

- 規 律 - 明るい環境のもと規律正しい社風を確立しよう
- 信 頼 - 相互信頼を深め和と協調による人間関係を高めよう
- 奉 仕 - 誠実なサービスの蓄積によって社会との絆を強くしよう
- 福 祉 - 企業の繁栄を通じ自らの生活の向上を計ろう

環 境 方 針

トヨタカローラ奈良株式会社は、お客様の立場になって考える優しさや思いやりを大切にし、自動車の販売・サービスを通じて、お客様とともに幸せな道をさわやかに走り続けます。

また当社の事業活動が地球環境に及ぼす影響を認識し、エコアクション 21 を取り入れた環境マネジメントシステムを確立し、全社員で取組み、奈良の自然環境を大切にし、奈良の文化に溶け込み、奈良県民に愛される地域密着型企业を目指します。

1. 事業活動に伴う環境側面を適切に管理し、地球環境への負荷の低減と汚染の予防に取り組めます。
2. 低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりに役立つ、製品・サービスを提供します。またグリーン調達に努めます。
3. 環境マネジメントシステムを定期的に見直し、有効性を高め、継続的な改善に努めます。
4. 環境関連法規制及び地域並びにお客様の環境関連要求事項を遵守します。
5. 環境活動レポートを通じて、環境活動の状況を社内外に公開します。
6. 本方針を全従業員に周知します。

制定日

2015年10月1日

トヨタカローラ奈良株式会社

代表取締役社長

菊 池 攻

2.1 組織・事業の概要

(1) 事業者名及び代表者名

トヨタカローラ奈良株式会社
代表取締役社長 菊池 攻

(2) 事業所名及び所在地

本 社 〒630-8141 奈良市南京終町2丁目269番地
下記の「事業所一覧表」に記す

(3) EMS管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者： 取締役総務部長 杉本 和昭
担当者： 総務部 井上 宏一
TEL:0742-61-3301 FAX:0742-62-6730
ホームページ : <http://www.c-nara.jp/>
E-mail : h-inoue@c-nara.co.jp

(4) 事業内容

新車及び中古自動車の販売と点検整備、保険代理業

(5) 事業規模等

売上金額 9,325 百万円／年(2014 年度・全社)
資本金 51 百万円
従業員数 262 名(全社・2016 年 3 月 1 日現在)

(6) 事業年度 4 月 01 日～3 月 31 日

事業所一覧表		※:今回の適用対象事業所
事業所名	所在地	
本 社 ※	〒630-8141 奈良市南京終町2丁目269番地	
奈良店 ※	〒630-8141 奈良市南京終町2丁目269番地	
富雄店	〒631-0065 奈良市鳥見町1丁目1-12	
平城山店	〒630-8106 奈良市佐保台西町33番地の1	
生駒店	〒630-0115 奈良県生駒市鹿畑町903-1	
郡山店	〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町1141番1	
西大和店	〒636-0154 奈良県生駒郡斑鳩町龍田西7丁目1-7	
桜井店	〒633-0072 奈良県桜井市箸中839-3	
橿原店	〒634-0006 奈良県橿原市新賀町136-1	
香芝店	〒639-0024 奈良県香芝市別所56-1	
葛城店	〒639-2102 奈良県葛城市東室93-3	
五條店	〒637-0004 奈良県五條市今井5丁目5-1	
U-CarMax 奈良八条店	〒630-8145 奈良県奈良市八条5丁目431-1	
U-Car 葛城店	〒639-2102 奈良県葛城市東室93-3	

2.2 認証登録の対象組織・活動

(1)対象事業所名及び所在地

本 社 〒630-8141 奈良市南京終町2丁目269番地
奈良店 本社と同一サイト

(2)対象組織の事業規模等

従業員数(奈良店含む)	83名
社屋延面積(奈良店含む)	4,522 m ²
敷地面積(奈良店含む)	11,893 m ²

(3)事業内容

新車及び中古自動車の販売と点検整備、保険代理業

(4)責任者：取締役総務部長 杉本 和昭
担当者：総務部 井上 宏一
TEL:0742-61-3301 FAX:0742-62-6730
ホームページ： <http://www.c-nara.jp/>
E-mail： h-inoue@c-nara.co.jp

(5) 全社組織への適用拡大は、2018年3月頃に実施します。

環境活動レポートの対象期間・発行日

対象期間：2015年10月1日～12月31日

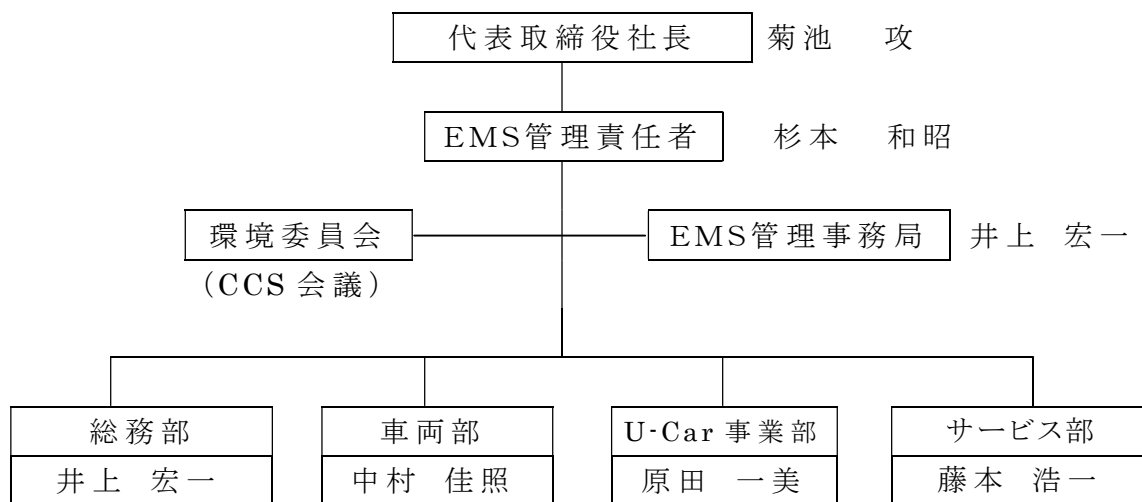
発行日：2016年2月27日

次回発行日：2016年6月

次年度発行日：2017年6月

2.3 環境マネジメント実施体制

組織図



役割分担表

代表取締役社長	環境マネジメントシステム(EMS)の総括責任 環境方針の制定及び周知 環境関連法規制等の周知及び管理 EMSに必要な経営資源の準備 EMS管理責任者の任命 環境目標及び環境活動計画の承認 EMSの定期的評価・見直しの実施 環境活動レポートの承認
EMS管理責任者	環境マネジメントシステム(EMS)の構築・運用 EMSを構築・実施し、評価し、代表者に報告 EMSに関する教育・訓練の実施 環境負荷(エネルギー・廃棄物等)データの管理 EMSに関する文書・記録の作成及び管理 環境コミュニケーション 環境活動レポートの作成、公開
EMS管理事務局	EMS管理責任者の補佐
EMS責任者 (各部長)	EMS部門責任者。 計画、推進、評価、管理、管理責任者への提案・報告。
EMS推進者 (各課長・店長)	EMS責任者の補佐
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3 環境目標

事業活動において、次の重点課題に関する目標を設定し取組みます。

- ① 電力及び化石燃料の消費量を削減する
- ② 電力及び化石燃料消費による二酸化炭素排出量を削減する
- ③ 水使用量を削減する
- ④ 産廃・一般廃の分別、減量、再使用、再生利用を推進する
なお使用済バンパー等の廃プラ、段ボール・紙等は、廃棄物処理
でなく資源循環システムを活用して再生利用している。
- ⑤ 環境に配慮した事業活動を推進する
 - ・ハイブリッド車の販売比率を高める
 - ・省燃費オイルの販売数を増やす
- ⑥ 業務上必要な調達品のグリーン購入を推進する
- ⑦ 化学物質を適正に管理する
- ⑧ 自然共生活動で生態系保全に取り組む

中期環境目標

環境方針の実現を目指し、基準年の実績を考慮して、環境目標を策定しました。

2015年度～2017年度目標								
							計画日：2015年10月1日	
基準年度：2014年度（2014年4月1日～2015年3月31日）								
中期目標策定方針：基準年度実績に比べ 2017年度に 何%削減/増加								
項目	1.電力	2.燃料	4.水	5.産廃	6.一般廃	7.HV比率	8.省燃費油	9.G購入
目標値	Δ6%	Δ6%	Δ6%	Δ6%	Δ6%	+6%	+6%	+6%
環境目標 NO 管理指標	基準年 2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
電力消費量 kWh	535,521	524,821			514,100			503,390
ガソリン使用量 ℓ	61,981	60,741			59,502			58,262
灯油使用量 ℓ	10,550	10,339			10,128			9,917
3.1 全CO ₂ 排出量 Kg-CO ₂	449,731	440,736			431,741			422,747
3.2 全CO ₂ 量/売上 百万円当	0.48	—			—			—
4.総排水量（水使用量）の削減 水道水使用量 m ³	4,007	3,927			3,847			3,767
5.産業廃棄物削減 廃プラ kg	6,620	6,488			6,355			6,223
6.一般廃棄物削減 可燃ごみ kg	5,650	5,537			5,424			5,311
7.事業活動での環境配慮 ハイブリッド車販売比率の向上 %	55.49	56.60			57.71			58.82
8.事業活動での環境配慮 省燃費オイルの拡販 ℓ	246.1	251.02			255.94			260.87
9.グリーン購入 環境配慮製品購入品目数	59	60			61			62
10.化学物質の管理 (化学物質購入量 ℓ)	2,652	—						
11.自然共生活動	—	—						
売 上 (万円)	932,500	—						

備考 電力のCO₂排出係数：0.522 kg-CO₂/kWh（関電 2013年度）

10.化学物質(塗料・溶剤等)の管理は、法規制も含め社内規定に従い実施する。

11.自然共生活動は、川上村に奈良トヨタグループで植樹活動し継続的に育樹する。

4 環境活動計画、取組結果、評価、次年度の取組内容

初動期の環境活動計画、取組結果、評価

基準年度の該当期間：2014年10月01日～12月31日（3ヶ月間）

初動期：2015年10月01日12月31日（3ヶ月間）

初動期の目標設定：2015年度目標値適用

評価日：2016年02月01日

達成状況評価：○目標達成 △未達で基準値より良い ×基準値より悪い

環境目標 NO 管理指標	基準年 2014年度	2015年度 初動期			コメント
	実績	目標	実績	評価	
電力消費量 kWh	127,385	124,837	105,665	○	照明のLED化実施
ガソリン使用量 ℓ	13,056	12,795	15,814	×	売上増による
灯油使用量 ℓ	3,043	2,982	2,422	○	
3.1 全CO ₂ 排出量 Kg-CO ₂	104,389	102,301	97,906	○	前年比：93.8%
3.2 全CO ₂ 量/売上 百万円当	46.8		43.2	○	前年比：92.3%
4.総排水量（水使用量）の削減 水道水使用量 m ³	1,000	980	981	○	節水
5.産業廃棄物削減 廃プラ kg	2,444	2,395	2,800	×	年末大清掃による
6.一般廃棄物削減 可燃ごみ kg	1,540	1,509	1,533	△	年末大清掃による
7.事業活動での環境配慮 ハイブリッド車販売比率の向上 %	55.49	56.60	49.79	×	HV以外の小型車増
8.事業活動での環境配慮 省燃費オイルの拡販 ℓ	246	251	298	○	
9.グリーン購入 環境配慮製品購入品目数	59	60	64	○	
10.化学物質の管理 (化学物質購入量 ℓ)	法遵守	規定遵守	規定遵守	○	
11.自然共生活動	周辺清掃	—	備考欄 参照	—	
売上 (万円)	223,034		226,861		

備考 電力のCO₂排出係数：0.514 kg-CO₂/kWh（関電2012年度）

5.産廃の総量を把握の上、廃プラ(廃梱包資材等)を対象に目標設定した。

但し、バンパーなどの循環型回収システムの量は除く。

11.化学物質(塗料・溶剤等)の管理は、法規制も含め社内規定に従い実施する。

12.自然共生活動は、下記の通り

『アクア・ソーシャルフェス』・・・吉野川清掃活動

『ふれあいクリーンプロジェクト』・・・店舗周辺清掃活動

『T&Cソーラーファーム』・・・太陽光発電所

2015 年度初動期の取組施策 及び 次年度に追加したい施策		
環境目標	初動期の施策(達成手段)	追加したい施策(達成手段)
1.電力消費量の削減	節電 より高効率な機器への切り替え	メリハリを付けたエアコン運用で、快適性と節電を両立
2.化石燃料の削減	無駄なアイドリングの禁止 控え目暖房	
3.全CO2排出量の削減	—	
4.総排水量(水使用量)の削減	節水	
5.産業廃棄物削減 廃プラ	リサイクル推進によるゴミ削減	
6.一般廃棄物削減 可燃ごみ	ペーパーレスの推進 無駄なゴミを持ち込まない	リサイクル推進による紙ゴミ削減
7.事業活動での環境配慮 HV車販売比率の向上	環境問題の観点からも最新のハイブリッド車をおすすめ	充電設備活用により、プラグインハイブリッド車推販
8.事業活動での環境配慮 省燃費オイルの増販	オイル交換時の声かけ	
9.グリーン購入 環境配慮製品購入品目数	興味を持ち選ぶ	エコマーク付き商品への随時切替
10.化学物質の管理	実態及び法規制等を確認して、EMS運用規定を制定し運用する。	現場での運用状況のこまめなチェック
11.自然共生活動	クリーンキャンペーンを通じて、周辺清掃への積極参加	植樹・育樹活動への取り組み

5 自然共生活動（生態系保存）

- ・アクア・ソーシャルフェス
- ・ふれあいクリーンプロジェクト
- ・T&Cソーラーファーム



みんなとだから、できること。

AQUA SOCIAL FES!!

□環境整備

毎年9月には、『ふれあいクリーンプロジェクト』を実施中です。会社周辺の清掃活動などを行っています。



□太陽光発電

2014年より、42kWのソーラー発電システムを導入し、全量関西電力に売電しています。

「2015年実績 47,870 kWh」



6 環境関連法規等の遵守評価結果、違反・訴訟の有無

6.1 適用環境関連法規等及び遵守評価

主な適用法規	主たる管理	評価
道路運送車両法	指定整備工場の管理	適合
消防法	防火、消火設備管理	適合
労働安全衛生法	安全管理・衛生管理	適合
	SDSの取得と周知	適合
水質汚濁防止法	自動式車両洗浄施設の管理	適合
下水道法	自動車分解整備洗車施設の管理	適合
PRTR法	指定化学物質の管理	適合
大阪府環境条例 (自動車NO _x ・PM法)	大阪府流入規制遵守	適合
廃棄物処理法	廃棄物処理の委託管理	適合

6.2 違反・訴訟について

環境関連法規への違反や訴訟はありません。関係当局からの違反等の指摘は、過去5年間ありません。

7 代表者による全体の評価と見直し結果 (実施日 2016年02月27日)

EA21支援相談人の指導を得て、システム構築と初動期の運用が一通りできた。

これまでも環境配慮や削減対策は行っており、やり尽した感があったが、今回の取り組みを通して、まだまだやるべきことがあるということがわかった。

(1) 環境目標への取組結果の評価

不要な照明の徹底した消灯や、高効率器具の導入により、特に電気使用量を大幅に削減し、電力＋化石燃料のCO₂は基準年比93.8%と目標を達成できた。

(2) 地域貢献活動として、川上村からの植樹・育樹活動への参加要請に応え、取り組みを実施することを決定した。

(3) 総合評価

社員の環境意識が変わり、行動に変化が見られ、結果として目標の多くを達成できたことがよかった。

今後は、年度の「環境活動計画」を実行し「環境目標」の実現を目指すために、他社の活動事例に学び、また自分たちで工夫して取組みたい。

「環境方針」、「環境マネジメント実施体制」、「環境目標」については、妥当と判断し継続する。

以上